所属	看護医療学部 看護学科	職位	教授	氏名(学位)	吉田和枝（博士（医学)）
所属学会	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、日本看護医療学会、日本褥瘡学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本クリティカルケア看護学会、日本がん看護学会				
専門領域	成人看護学				
研究テーマ	オストミー看護、がん看護、周術期看護、腸電位に関する研究、多職種連携に関する研究				

Ⅰ　主な教育活動

教育実践上の主な実績

1　教育･内容の工夫（授業評価等を含む）	学生と教員の対面型授業を行う。リアクションペーパーの内容を活かして、学生の理解度を確認しながら、分からない部分には次回の講義時に解説を加えるなど授業を発展させる。成人急性期看護援助論では、看護過程で、イメージできるようにストーマのモデルや装具を実際に貼付して患者心理を体験できるように工夫をした。
2　作成した教科書、教材、参考書	周術期看護　第２版　周術期看護の基盤となる理論と看護展開　編集：明石恵子、嶌田理佳　分担執筆　メヂカルフレンド社　2021 年
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等	三重県看護教員養成講習会講師 2019 年 若葉病院褥瘡学習会
4　その他教育上特記すべき事項	奈良学園大学院 CNC コース非常勤講師 2018 年～2020 年 若葉病院ストーマアドバイザー（現在)、東海ストーマ講習会実行委員 2024 年 愛知県オストミー協会講師 2023 年

Ⅱ　主な研究活動

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
著書	経過別成人看護学２ 周術期看護	共著	2021 年 12 月	メヂカルフレンド社	編集：嶌田理佳、明石恵子 分担執筆：吉田和枝	436-443
学術論文	ポータブル腸電位と腹部エコーを用いた腸蠕動の可視化と看護実践のイノベーション	共著	2020 年 3 月	修文大学紀要　No. 12	前川厚子、塩野雅也本田育美、吉田和枝平野明美、青山京子竹井留美、渡邊彰吾渡辺修、進藤勝久王イェン	1－13
学術論文	わが国の労働者における新型コロナウイルス感染症の検査を受ける動機付けに関連する因子	共著	2021 年 12 月	厚生の指標　68（15）	工藤安史、後藤由紀柿原加代子、吉田和枝、榎本喜彦、森智子、河野啓子、堤明純	

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	二次救急医療施設で働く看護師の心肺停止状態で搬送された患者の顔族に寄り添うことの意味	共著	2022 年 3 月	四日市看護医療大学紀要第 15 巻第 1 号	岡林由起、豊田妙子、吉田和枝	69－76
学術論文	愛知県における慢性透析患者の排便管理に関する実態調査	共著	2024 年 6 月	東海ストーマ会誌第 42 巻第 1 号	前川厚子、吉田和枝、榎本喜彦、伊藤康宏、本田育美、中井滋、稲熊大城	5 - 16
学術論文	ポータブル腸電位計を用いた大腸蠕動運動可視化に関する検討－健康成人 1 名を対象とした予備的研究―	共著	2024 年 12 月	日本ストーマ・排泄会誌 40（3）	吉田和枝、前川厚子、本田育美、吉川尚美、榎本喜彦、伊藤康宏、問山裕二	211 － 218

Ⅲ　主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
・ストーマを有する切除不能進行再発大腸がんにおける分子標的薬治療による皮膚障害の観察研究	共同	2020 年 2 月	第 37 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・ストーマを有する切除不能進行再発大腸がんにおける分子標的薬治療による皮膚障害の観察研究（第 2 報）	共同	2021 年 2 月	第 38 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・腸電位計を用いた大腸蠕動の経時的変化	共同	2023 年 2 月	第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・基礎看護教育における消化管ストーマケアに関連した文献レビュー	共同	2023 年 2 月	第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・ Visualization of Intestinal Peristalsis for Stoma Care practice by Handy Electroenterometer	共同	2023 年 3 月	第 19 回アジア大腸肛門病学会（マレーシア）
・愛知県における慢性透析患者の排便に関する実態調査	共同	2023 年 8 月	第 71 回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会
・ポータブル腸電位計を用いた排便予測	共同	2024 年 2 月	第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・ストーマ閉鎖後の排便に関連する腸蠕動運動の可視化	共同	2024 年 8 月	第 72 回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会
・Visualization of Colonic Peristalsis related to bowel movements after Temporary Stoma Closure	共同	2024 年 9 月	第 32 回国際大腸肛門病学会 2023（ソウル）
・腸電位計を用いた体表面からの下行結腸蠕動の可視化	共同	2025 年 2 月	第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
・ Visualization of intestinal peristalsis rerated to defecation	共同	2025 年 2 月	第 20 回アジア大腸肛門病学会（マレーシア）

Ⅳ　社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2015 年～現在	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会　評議員
2018 年 2 月～現在	アジアストーマリハビリテーション学会　事務局
2021 年 5 月～現在	三重県看護協会倫理委員
2021 年 11 月～現在	日本難病看護学会　査読委員